

大会参加における遵守事項

①参加者が遵守すべき事項

- (ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（イベント当日に確認を行います）。
 - ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
 - ・同居家族や身近な友人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要としている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (イ) マスクを持参すること。
- (ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をすること。
- (エ) 他の参加者、学連スタッフ等との距離（最低1m、目安は2m）を確保すること。
- (オ) 会場及びその周辺で大きな会話、応援等をしないこと。
- (カ) 大会前後のミーティングや懇親会等の開催は避けること。ただし、ミーティングに限りやむを得ず開催する場合は短時間とし、三つの密（密閉、密集、密接）を避けること。
- (キ) 大会終了後14日以内に新型コロナウイルスに感染した場合、学連に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (ク) 学連から何らかの指示があった場合、速やかにそれに従うこと。

②マスクの着用

- (ア) 参加の受付、着替え、表彰状の受け渡し等の運動・スポーツを行っていない時には、マスクを着用すること。
- (イ) 試合中のマスクの着用は参加者の判断によるものとするが、熱中症や呼吸困難などには十分注意すること。

③ゴミの廃棄

- (ア) ゴミ（ペットボトル含む）は各自持ち帰ること。
- (イ) 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、各自のカバン・ラケットバッグ等にしまうこと。

④試合中の遵守事項

- (ア) 十分な距離の確保
 - ・ポイント間は対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以上確保すること。またコート内においても距離の確保を努力し、ペアと至近距離での話し合いやハイタッチなどを避けること。
 - ・試合の開始時及び終了時の挨拶は握手でない方法で行うこと。
 - ・チェンジエンドの際も対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以上確保すること。
- (イ) 試合中はラケットや自らの試合で使用するボールなどプレイに必要なもの以外にもサーフェスや

テニスコート備品を含め、できるだけ手で触れないこと。

(ウ) タオルの共用はしないこと。

(エ) タオルは手が触れる面と顔に触れる面を使い分けること。

(オ) プレイ中は手で顔に触れるのを避けること。

(カ) ラケット・水筒をはじめとする用具をパートナーや対戦相手と共有しないこと。

(キ) 咳・くしゃみの際は腕で口を覆うこと。

(ク) 唾や痰を吐く行為は行わないこと。

備考1：テニスは社会的距離が確保できるスポーツですので、セルフジャッジ5原則は、通常通り適用されます。

備考2：動画【安心・安全なテニス】のために「New ノーマル」

(<https://www.jta-tennis.or.jp/information/tabid/736/Default.aspx>) 一度お目通しください。